

アイパル通信

2013

1

アイパル(I-PAL)の意味

アイは愛や国際交流(International Exchange)を、パルは友達や仲間という意味を表し、アイパル香川が国際交流に関係するひとの拠点となるイメージを表現しています。

アイパル香川(香川国際交流会館)の耐震工事について
かがわ国際フェスタ2012シリーズ第3回報告
かがわ国際フェスタ2012シリーズ第4回、第5回案内
アイパル海外留学、ワーキングホリデーフェア開催
災害時の外国人支援について考えよう/高校生カレッジ In Kagawa
世界からのエアメール【インドネシア】
県内日本語教室、Japanese Learning Centers、日本語教室
お役立ち情報、Useful Information、有用的情報
OTT帰国インタビュー/県内の国際交流、協力団体を紹介します
ようこそ! JICAへ
世界のあれこれ〜ジンバブエ編〜
I-PAL NEWS / Information(県内イベント情報)

平成25年2月アイパル香川(香川国際交流会館)全面の耐震改修が完了し、より安心・安全な会館となります!

アイパル香川(香川国際交流会館)の耐震改修工事期間は、当初12月末までの予定でしたが、本年1月末まで延長になりました。当会館をご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

■対象エリア

地下：ライブラリー
1階：アイパルプラザ、友好交流展示室 } 1月に順次復元を行います。
2階：交流フロア
3階：会議室

平成25年1月22日(火)から従来通りご利用になれます。

1月22日(火)まで：第1・第4のみ

利用可能時間：平日(火～金)18:00～21:00、土・日・祝日9:00～18:00

■当会館事業

○外国語講座・日本語講座：通常どおりアイパル香川にて開講します。

○日本語サロン：(火曜日)交流フロアまたは地下会議室、(木曜日)ライブラリーまたは地下会議室で開催します。

詳細はアイパル香川の掲示板やホームページ等でご確認ください。



Work to earthquakeproof the exterior of I-Pal Kagawa (Kagawa International Exchange Center) will be complete by February 2013, making it a safer and more secure building!

The earthquakeproofing work at I-Pal Kagawa (Kagawa International Exchange Center) was intended to be completed by the end of December 2012. This completion date has now been postponed until January 2013.

We apologise for the inconvenience that this will cause to our guests but we ask for your understanding and cooperation in this matter.

■Construction areas

Basement: Library
1st Floor: I-Pal Plaza, Friendship City Exhibition Room } These areas will be
2nd Floor: Exchange Floor } restored in January
3rd Floor: Meeting Rooms

These rooms will be restored to their original form by Tuesday 22nd January 2013.

Only Room 1 and 4 are in use until Tuesday 22nd January.

The rooms can be used on weekdays (Tuesday - Friday) 6pm - 9pm

And on Saturdays, Sundays and public holidays 9am - 6pm

■I-Pal Events

○Foreign Language Classes / Japanese Classes will be held at I-Pal as before.

○Japanese Salon will be held on the Exchange Floor or the Basement Meeting Room on Tuesdays and in the Library or the Basement Meeting Room on Thursdays.

Please see the I-Pal Kagawa noticeboard or homepage for more information.

2013年2月I-PAL香川(香川県国際交流協会)の耐震修繕工程将全面完工, 届时新会馆将会变得更舒服、更安全!

I-PAL香川(香川県国際交流協会)の耐震修繕工程原定于去年底完工, 现在延长到今年1月底。本次延期给利用本会馆的各位带来了不便, 敬请理解和原谅。

■館内维修设施

地下：图书室
1楼：I-PAL展示区、友好交流展示区 } 自1月
2楼：交流区 } 份起依次恢复
3楼：会议室

自2013年1月22日(周二)起可照常使用

截至2013年1月22日(周二)：第1、4会议室可使用

可利用时间：平日(周二-周五)18:00～21:00

周六、日、节假日 9:00～18:00

■本会館業務

○外语讲座、日语讲座：依旧在I-PAL香川内进行

○日语沙龙：(周二)交流区或地下会议室

(周四)图书室或地下会议室

详细信息请登陆I-PAL香川的通知板或主页。

かがわ国際フェスタ2012シリーズ第3回を開催しました!「姉妹・友好都市週間パネル展」

11月6日(火)から8日(木)まで高松市役所1階市民ホールにて「姉妹友好都市週間パネル展」を開催いたしました。高松市の姉妹・友好都市の紹介とともに、KOKUNO香川、(公財)かがわ海外交流財団、高松ユネスコ協会、香川SGG、高松市日中友好協会、牟礼エルバートン親善委員会の皆様のご協力を得て、県内における国際交流活動の様子をご紹介させていただきました。期間中、多くの市民の方に足をとめて頂き、中には各団体のパネルをじっくりと見ておられる方もみうけられ、市民の皆さんの国際交流への関心の高さ、そして、さらなる各団体の活動への期待の高まりを感じながら終了することができました。会場に足を運んでくださった皆様、各団体の皆様、ありがとうございました。



第4回「地球ステージ&海外ボランティア体験談」【日時】平成25年1月26日(土)**<1部> 海外ボランティア体験談&国際協力わくわくひろば アイパル香川3階 12:00~15:00**

JICAボランティアをはじめ、県内出身で海外で支援活動を行っている方々が現地での生活や活動について紹介します!また、県内の国際協力団体による、フェアトレードコーヒー、紅茶、手作りのお菓子、またフェアトレード商品や世界各地の民芸品の販売も行います。

**<2部> 地球のステージ アイパル交流フロア 15:00~16:30**

地球のステージは、東北国際クリニックの桑山紀彦院長が、ライブ音楽と大画面の映像を用いて、開発途上国の現状とこれまで実施した海外医療支援活動をお伝えするものです。

今回のステージでは、ガーナの青年海外協力隊員、シニアボランティアの国際協力活動やガザ、アラブでの紛争と医療救援活動の内容、広島での平和教育などを取り混ぜたプログラムをお届けする予定です。

※定員 200 名 要事前予約※



お問い合わせ・申込みは、JICA 四国まで

TEL : 087-821-8824 FAX : 087-822-8870 E-mail : jicaskic-jocv@jica.go.jp

第5回「春節友好交流会」

中国の一大慶事である春節(旧正月)を祝う交流会に参加しませんか?

歌や音楽を始め、ゲーム、お楽しみ抽選会など楽しい催し物がいっぱい! 是非ご参加ください。

【日 時】 平成25年2月10日(日) 13:00~16:30
 【会 場】 アイパル香川
 【問合先】 (公財)高松市国際交流協会
 高松市番町一丁目11番63号アイパル香川内
 TEL 087-837-6003 / FAX 087-837-6005

**第5回“春节友好交流会” 免费参加**

您想参加中国最大的节日春节(旧正月)的庆祝交流会吗?
 我们为您准备了各种节目,不仅有歌曲和音乐,还有游戏、
 让人心动的抽奖大会等,请您一定要参加!

【时 间】 2013年2月10日(周日) 13:00 ~ 16:30
 【地 点】 I-PAL 香川
 【咨 询】 (公財)高松市国际交流协会
 高松市番町1丁目11番63号 I-PAL 香川
 TEL 087-837-6003 / FAX 087-837-6005

**アイパル海外留学、ワーキングホリデー情報フェア開催のお知らせ** 参加無料

平成25年3月6日(水)~12日(火)まで、アイパル香川1階アイパルプラザにて、海外留学やワーキングホリデーに関する資料の展示、配布を行います。また、3月9日(土)には、初心者の方を対象としたワーキングホリデーや海外留学に関するセミナーと相談会も開催します。みなさんは是非この機会にご参加下さい。(「セミナーと相談会」には事前のお申し込みが必要です。)

**★ワーキングホリデー、海外留学セミナーと相談会★**

セミナー13:00~14:30 相談会14:40~16:00

海外留学やワーキングホリデーに興味はあるけれど、何から始めたらいいかわからない。費用はどのくらいかかる? ビザの取得方法は? など不安や疑問のある方必見!!今回は、一般社団法人日本ワーキングホリデー協会から専門家の方をお迎えして、みなさんの疑問にお答えします。また、具体的な質問のある方には、セミナー終了後に相談会も予定しています。

一般社団法人日本ワーキングホリデー協会とは:

ワーキングホリデーという言葉を知っていますか。海外で英語を勉強しながら異文化に触れ、お仕事経験をする事で帰国後の就職に生かす事が出来るビザです。英語力・経験・コミュニケーション力を企業が求めている今「実利派」という事で海外に目を向ける学生、社会人の方が増えています。日本ワーキング・ホリデー協会では毎日セミナー開催しており、海外へ行く方のサポートをしています。詳しくはこちら→<http://www.jawhm.or.jp/>



お申込み・お問い合わせは⇒アイパル香川 海外留学フェア担当まで TEL(087)837-5908



災害時の外国人支援について考えよう ～1～



11月3日(土)に、通訳等ボランティア登録者の方を主な対象として、災害時の外国人支援について考える研修会を開催しました。今回は講師として、多文化共生リソースセンター東海から土井佳彦さんをお迎えし、東北地方太平洋沖地震多言語支援センターでの活動経験をもとにお話をうかがいました。今号(1月号)・4月号の2回に分けて、その内容をレポートします。

1. 災害時に外国人が置かれる状況と要因について考える

これまでの大規模災害発生時において、外国人の死者比率を日本人のものと比べると、外国人の方が高いことが、数値から分かりました。これは、外国人住民は地震などの災害に関する知識がもともと少ないこと、また、災害が起こった後も関連の情報が得にくく、得られたとしてもそれが理解できないこと、また、地域とのつながりが少なく、頼れる人やコミュニティがないことなどが要因としてあげられます。

日本で日常生活を送るには問題がなくても、いざ災害が発生すると、テレビから聞こえてくるのは聞いたこともない日本語…ヒナンって何? 分からない。でも誰に聞けば? 外国人住民は私たち日本人以上の不安を抱えていたことでしょう。

2. 東北地方太平洋沖地震多言語センターの果たした役割について

阪神大震災、新潟中越沖地震の経験を受けて、大規模災害発生時に外国人被災者のための多言語支援センターが立ち上げられるようになりました。2009年には(財)自治体国際化協会が災害時多言語支援センター設置運営マニュアルを作成。これにより東日本大震災でも、巨大地震発生の数時間後には多言語支援センター設立が決定されています。

センターは、やさしい日本語を含む多言語での災害情報を提供をすることで、外国人被災者に安心を届けるという役割を担っています。東日本大震災では、地震発生翌日には専用ウェブサイトが多言語情報の発信がスタート。そして3日後には多言語ホットライン(電話相談窓口)が開設されました。その間各関係機関の連携のもと、運営体制が整備されていきました。

次号では多言語支援センター、香川県での被災状況を予測して準備しておくことについてさらにレポートします。

「高校生カレッジ in KAGAWA 2012」開催報告

県内の高校生36名がアフリカからのJICA研修員と交流しました!



11月10日(土)、県内の高校生を対象とする国際理解プログラム「高校生カレッジ in KAGAWA 2012」が高松商工会議所にて開催されました(主催:香川県国際交流協会、JICA四国)。

本プログラムには、県内の高校18校から36名が参加し、JICA四国の研修(青年研修「母子保健実施管理コース」)でアフリカ12か国から香川県を訪れていた20名の研修員のみなさんと交流しました。当日は、研修員との交流の他、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」、青年海外協力隊OBの体験談、NGOの活動紹介等さまざまな活動を体験しました。そして、最後のアフリカンコンサートでは、高校生も研修員も一緒になって踊り、会場全体が熱気に包まれました。

【参加者の声】

- ・すごく勇気をもらいました。
- ・今回の行事で、今までの自分がイメージしていたアフリカとは全く違ったアフリカを知ることができた。とても楽しかったです。
- ・人脈が広がったことがよかった。
- ・フェアトレードや各国のことについてより知ることができました。
- ・この国際理解講座を受けて、いろいろな文化を知り、また、国際的な問題を知ったので、自分もリサイクルなどをして、国際協力をしたいと思いました。
- ・すごく楽しかったです。英語はあまり得意ではありませんでしたが、話していてアフリカの人はすごく陽気なんだと思いました。参加できて本当によかったです。
- ・外国の人と3人で話した時、英語が話せないの、どうなるかと思ったのですが、伝えようという気持ちがあれば、伝わるとわかりました。

世界からのエメール



～インドネシア共和国～

海外に住んでいる香川県にゆかりのある方や団体を紹介しています。

第6回は、インドネシア共和国ジャカルタ出身のルスディアントさんを紹介します。

インドネシア共和国は、大小あわせて約18,000以上の島々からなる世界最大の群島国家で、美しいビーチと熱帯の木々に囲まれた国です。赤道にまたがっており、太平洋とインド洋、そしてアジアとオーストラリア大陸の間に位置しています。

インドネシアには200以上の民族グループがあり、約2億3,800万人が住んでいます。国語と公用語はインドネシア語で、学校の教育はもちろんテレビ等でも使用されています。しかし、公用語以外にも300以上の言語があるので、インドネシア人の大半は、インドネシア語と現地語の2言語以上話せます。



バリ舞踊

島々の中でもよく知られているのは、スマトラ島、ジャワ島、バリ島、カリマンタン島(旧ボルネオ島)、スラウェシ島(旧セレベス島)、そしてかつてはモルッカ諸島(香料諸島)として知られていたマルク諸島、パプアなどですが、その中でもバリ島は、その魅惑的な文化やビーチ、踊りや音楽などで世界でも有数のリゾート地になっています。

また、インドネシアには群島ならではの伝統や文化も根強く残っていますが、それと同時に何世紀にも渡ってインドや中国、アラブ諸国、ヨーロッパなどの文化の影響も受けています。そして、最近では世界中旅行できるようになったことやインターネットなどの影響もあり、人々は世界の文化やトレンドなども取り入れて独自のユニークなインドネシアを作りだしています。

2003年にインドネシアでは初めてWayang Kulit(影絵芝居)がユネスコ無形文化遺産認定され、その後もKris(短剣)、Batik(ろうけつ染め)、Angklung(西ジャワ島の伝統竹楽器)と合計4つが認定されています。

私は、2003年7月から2004年2月まで四国旅客鉄道株式会社で健康管理や安全教育、車両解体、インストール方法、工学設計など様々な分野の研修をしました。そして研修以外には、アイバル香川で日本語の勉強をしたり、盆踊りや茶道などの日本文化も体験することができました。香川県は、道にゴミもなく交通整備もきちんとされているので、交通事故もめったに起こらないとても清潔で安全な所という印象があります。また、香川の名物うどんは、とても美味しく安いのでよく食べていましたし、大好きでした。今でも日本から友人が来る時には、うどんを持ってきてもらっています。仕事で日本に行く機会はありませんでしたが、まだ香川には帰れていませんので、また近いうちに家族といっしょにみなさんに会いに行けることを心より楽しみにしています。

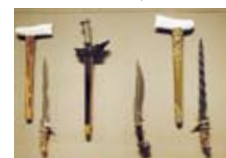
- ギリシア語で「東インドの島々」の意味を持つインドネシアは、東西に5,110kmと長く世界最大の群島を抱える国で、人口は世界第4位。
- 首都ジャカルタはジャワ島に位置し、人口は、約854万人。政治経済の中心地としての特別市として州と同等の位置づけにある。
- 全国民の半分以上がジャワ島に集中しているため、比較的人口の少ないスマトラ島、カリマンタン島、スラウェシ島に住民を移住させる政策(トランスミグレーション)を行ってきている。
- 代表的なインドネシア料理には、ナシゴレン(焼飯)やサテ(串焼肉)、グライ(カレー)などがある。



ワヤン クリ
Wayang Kulit↑
クリス↓



バティック アンクルン
Batik↑と Angklung↓



ルスディアントさん Mr. Rusdianto



平成15年7月から平成16年2月まで、香川県海外技術研修員として高松市に滞在、JR四国多度津工場にて研修を行いました。毎朝5時起きで、お祈り→弁当作り→長い電車通勤。大好きな電車(ことでん&JR)での通勤は楽しかったかもしれませんが、冬の寒さにはこたえていたようです。現在はインドネシア鉄道で技術部長を務められ、日本や韓国などへの海外出張もしばしばというご活躍ぶり、とても嬉しく思います。鉄道好きが高じ、3人のお子さんにも、Nozomi(長男)、Hikari(次男)、Kisha(長女)と命名されたとか。…さすが!としか言いようがありません。

(平成15年度海外技術研修員担当者より)

	にほんごきょうしつ 日本語教室	Japanese Learning Centers	日语教室	☎
①	かわかえんこくさいこうりゅうきょうかい 香川県国際交流協会	Kagawa Prefecture International Exchange Association	香川県国際交流協会	087-837-5908
②	たかまつしこくさいこうりゅうきょうかい 高松市国際交流協会	Takamatsu International Exchange Association	高松市国際交流協会	087-837-6003
③	まるがめしこくさいこうりゅうきょうかい 丸亀市国際交流協会	Marugame International Exchange Association	丸亀市国際交流協会	0877-56-1771
④	ひがししこくさいこうりゅうきょうかい 東かがわ市国際交流協会	Higashikagawa International Exchange Association	东香川市国際交流協会	0879-26-1215
⑤	にほんご 日本語サークル「わ」の会	Japanese Language Circle, "Wa" no kai	日语「WA」俱乐部	090-2893-6352
⑥	みとよにほんごきょうしつ みとよ日本語教室	Mitoyo Japanese Class	三丰市日语班	0875-56-5121
⑦	みきちょうにほんご 三木町日本語ひろば	Miki -cho Japanese Square	三木町日语广场	087-891-3314
⑧	たどつにほんごきょうりゅうかい たどつ日本語交流の会「たにこ」	Tadotsu Japanese Exchange Meeting	多度津日语交流会「TANIKO」	090-6280-6917
⑨	まんのうちょうこくさいこうりゅうきょうかい まんのう町国際交流協会	Manno International Exchange Association	满浓町国際交流協会	0877-75-0200
⑩	にほんご 日本語「まんのう」	Japanese "Manno"	日语「满浓」	0877-79-1266 080-2996-4567
⑪	さぬき市国際交流をあたためる会	A party to deepen the international relations of Sanuki city	讃岐市国際交流促進会	087-894-6372
⑫	さくらまちきょうかい カトリック桜町教会 国際部にほんごクラス	Sakuramachi Catholic Church International Division Japanese Class	天主教桜町教会 国際部日语班	087-831-7455

〈教室からのメッセージ〉

さぬき市国際交流をあたためる会、大川教室に続いて志度教室が10月から開講しました。中国人、カンボジア人、ラオス人等の学習者が参加でボランティアが不足しています。楽しくまじめに勉強しています。ボランティアさん募集中です。

●学習場所：さぬき市志度コミュニティセンター

(喫茶パームス横の会議室)

●学習時間：第2、4金曜日18:30～20:30

●問い合わせ：☎087-894-1500 (パームス)

さんかむりょう
参加無料!



じゅぎょうふうけい
授業風景

A typical class
课堂情景

〈A message from the organizers of the Japanese classes〉

A party to deepen the international relations of Sanuki city runs two Japanese classes; the Okawa Class and, more recently, the Shido Class, which opened in October. Students from many countries, including China, Cambodia, and Laos, attend but there is a shortage of volunteer teachers. The class is serious but enjoyable. Please get in touch if you are interested in becoming a volunteer.

Free
Classes!

●Location: Sanuki City Shido Community Center (Meeting Room beside Palms Coffee Shop)

●Time: 2nd and 4th Friday of the month (18.30-20.30)

●Contact: Palms (☎087-894-1500)

〈教室带来的消息〉

继讃岐市国際交流促進会、大川日语教室之后，志度日语教师也在10月开班了。由于来自中国、柬埔寨、老挝的学习者增多，现在志愿者出现不足。本教室能保证您学习认真、愉快。志愿者正在招募中。

免费
参加!

●地址：讃岐市志度交流中心(咖啡馆 palms 旁边的会议室)

●时间：第2、4个星期五 18:30～20:30

●咨询电话：☎087-894-1500(咖啡馆 palms)

確定申告とは、毎年、その年の1月1日から12月31日までの1年間の収入に応じて納税するために自分で税務署に申告する手続きのことで、日本国内で個人の所得がある場合は、外国人のみなさんも所得税を国に支払わなければなりません。

○**申告時期**：翌年の2月16日から3月15日までの1か月間

○**確定申告をしなければいけない人**：個人事業主や会社員で給与所得が2000万円以上の人、不動産収入のある人、副収入のある人、医療費控除や初年度の住宅ローン控除を受ける人など

○**確定申告をしなくてもよい人**：会社員の人で特別な控除を受けなくてもよい人、専業主婦など収入のない人、収入があっても所得控除を引くと税金のかかる所得が0円の人など

アルバイトやパートの人でも、給料から源泉徴収されている場合は、会社から源泉徴収票を発行してもらえますので、1年間の所得が103万円以下の場合には無税になり、確定申告をすれば今まで徴収されていた税金が戻ってきます。また、年末調整後に扶養家族が増えた場合や扶養控除申告書などの年末調整を行うために必要な書類を会社に提出していなかった場合、年の途中で退職した場合にも確定申告をすることによって税金が戻ってくる場合があります。

ただし、確定申告をしなければならない人が申告を行わなかったときは、加算税や延滞税が課される場合がありますので、気をつけましょう。税金のことは、日本人でも分かりにくい事がたくさんありますので、分からないことがあれば近くの税務署で相談してください。

An Income Tax Return (*kakutei shinkoku*) is a declaration that a person makes personally to the tax office, in order to pay tax on his or her earnings (income tax) each year for the period between 1st January and 31st December. If you have an individual income in Japan, you must pay income tax to the government, even if you are not Japanese.

○**Submission Period** : Between 16th February and 15th March of the following year

○**People who must submit an Income Tax Return** : Self-employed people; company employees who earn over JPY20,000,000; people who receive income from property; people with a secondary income; people who are receiving a medical expenses tax reduction; people who are receiving a tax reduction for the first year of their mortgage, etc.

○**People who do not need to submit an Income Tax Return** : Company workers who are not receiving any special tax reductions; people without an income, such as housewives; people who have no taxable income after income tax deductions.

If you are a part-time worker and your salary has automatically been taxed, you can ask your company to issue a Tax-Income Certificate (*gensen chōshū hyō*). You do not owe income tax if you earn less than JPY1,030,000 in a year. If your salary is below this threshold and you have been taxed, please submit an Income Tax Return, and all of the tax you have paid up until now will be returned to you. You can also receive tax rebates by submitting an Income Tax Return if the number of your dependents has increased since the end of year tax adjustment; if you have not yet submitted the necessary documents, such as a Declaration of Exemption for Dependents (*fuyō kōjo shinkoku*), to your employer for the end of year tax adjustment; or if you have terminated your employment part way through the year.

Please be aware that people who fail to submit an Income Tax Return when they are required to do so may have to pay additional tax or tax in arrears. Tax is difficult even for Japanese people to understand. Please consult your nearest tax office if anything about your tax affairs is unclear.

確定申告指的是每年按照自己1月1日至12月31日的收入向税务署申报税金的手续。在日本国内的外国人，只要有个人收入，也必须缴纳所得税。

○**申报时间**：翌年2月16日至3月15日的一个月

○**必须要确定申报的人员**：收入2000万日元以上的个人业主和公司职员、拥有不动产收入者、兼职收入者、享受医疗费扣除者和第一年度住宅贷款扣除者等。

○**不需要确定申告者**：不享受特殊扣除的公司职员、无收入的专业主妇、扣除个人所得后不需缴纳个人所得税的有收入者。

被从工资里扣除源泉税的打工者和兼职者，根据公司的源泉征收发票，年收入不满103万日元时免税，所以进行确定申告的话就可以拿回被征收的税金。另外，年底调整后抚养的家人增加者、因年底调整未能及时向公司提交抚养扣除申报书者、以及年中退休者，都可通过确定申告拿回税金。

如果必须确定申告而未进行确定申告者，会被加收附加税及滞纳金。很多税收就连日本人也不清楚，所以您不清楚的话就请就近到税务署咨询咨询吧。

平成24年度香川県海外技術研修員 帰国インタビュー

2012年は中国とブラジルの2カ国から4名の海外技術研修員を迎えました。12月中旬に研修を終え、帰国した4名の研修員です。6か月という短い期間でしたが、みなさん熱心に研修に励んでいました。

①名前 ②出身国 ③趣味 ④研修先 ⑤研修の感想 ⑥香川県の好きな場所 ⑦将来の夢や希望

①王 雪寧

②中国(陝西省西安市)

③美容方法を探すこと。

④香川県総務部知事公室国際課
(公財)香川県国際交流協会
香川県栗林公園観光事務所

⑤日本語はもちろん、たくさんのことが勉強できてとてもうれしかったです。国際課では、国際交流関係のことをたくさん勉強でき、アイパルでは日本語教室の見学を通して新しい発見がありました。栗林公園では、日本の伝統的な文化を肌で感じられて本当によかったです。

⑥小豆島 ⑦いい奥さんになること!



①謝 思農

②中国(陝西省西安市)

③バドミントン、旅行、読書

④香川県総務部知事公室国際課
四国ツーリズム創造機構

⑤研修で様々な経験をさせていただき、見分を広めることができました。また、日本語能力の向上にもつながる良い機会になりました。

⑥金毘羅宮、多度津、善通寺

⑦中日の友好交流の懸け橋になれるような人になること。



①香川 アンデルソン 和幸

②ブラジル(サンパウロ市)

③ダンスや音楽などの芸術に関すること全般。人生は芸術だから!

④イングリッシュスタジオ T&M、(公財)香川県国際交流協会、
香川県総務部知事公室国際課

⑤たくさんの事を学びましたが、特に人生についてよく学べました。研修で得た時間や思い出は、お金やダイヤモンドでは買えないかけがえのないものとなりました。

⑥私の二番目の家・アイパル、サンポート、ドンキホーテ

⑦仕事の仕方や会話力をもっとよりよいものにすること。



①野上 ジゼリエ 博美

②ブラジル(ベレン市)

③インターネット

④香川県総務部知事公室広聴広報課
さぬき市ケーブルネットワーク
株式会社四国新聞社
(公財)香川県国際交流協会

⑤香川県での研修はすばらしかったです。家族と離れての研修生活で大きく成長でき、全ての事に感謝しています。

⑥屋島、高松の商店街

⑦ブラジルで開かれるワールドカップやオリンピックでジャーナリストとして仕事をすること。VEJA という雑誌社に就職すること。



県内国際交流・協力団体を紹介します

問合せ先: 小豆島国際親善交流会 〒761-4103 小豆郡土庄町甲5164

電話: 0879-62-114 FAX: 0879-62-6495

E-mail: cpt-hama@mx8.tiki.ne.jp 代表: 大峰 茂樹

小豆島国際親善交流会 S.I.F.C. は、1978年に小豆島国際キャンプとの関係ができたことがきっかけとなり、グアム日本文化会(N.B.K.)が設立され、同時に設立されました。そして、現在でも、姉妹クラブとして交流が続けられています。

小豆島におけるホームステイの受け入れは、1979年5月に第1回目の研修団、ジョージ・ワシントン高校 N.B.K. の生徒14名が副校長の Mr. キットグワと Mr. シェイファの引率のもと、来島したことに始まりました。そして、翌年の1980年6月には、第2回目の研修団、校長夫妻を含む教師4名、生徒15名が来島しました。日本においては、小豆島両高校のほか坂出高校へも足を延ばしており、それ以降は、毎年様々なプログラムを企画しています。表面的な観光のみならず、ホームステイを通して肌で日本に触れ、高校生一同大いに交流を深め、現在までに150名を超える研修生の受け入れを行っています。また、1986年以降行っている小豆島からの派遣事業においては、毎年7名程度の高校生をグアム島に派遣し、このホームステイプログラムを経験した小豆島の高校生は、2012年の研修を終え170名以上に達しています。そして、2013年3月には、小豆島からの高校生5名を研修生としてグアムに派遣予定をしております。



ラッテストン公園

このプログラムは私たちボランティアの手で企画され、両島の多くの人々によって援助され、長い間続けられてきました。



トルーマン小学校

両島とも観光が重要な産業の一つであり、似かよった面を持っておりますので、交流は Heart to Heart, People to People の精神で、一步一步地道な活動を続けていくことが大切だと考えています。この研修に参加した高校生の感想文を読んでも、いかに若いうちの国際交流が大切であるか、異文化交流が大切であることを痛感させられています。今後もこの事業を継続し、発展させていくためには多くの理解者やボランティアが必要ですが、同時に一人でも多くの高校生を派遣していくための資金をどうするかなどの問題を解決していかなければなりません。少しでも多くの関心や興味のある方々の参加協力を切望しています。

ようこそ!JICAへ



ネパールに行ってきました～教育行政担当者コース～

ナマステ！（ネパール語で「こんにちは」）JICA香川デスクの西岡です。昨年の9月、JICA四国が実施する教師海外研修(教育行政担当者コース)で、四国の9名の先生方とともにネパールを訪れました。研修では、9月8日から9月17日の約10日間、ネパールの学校や、JICAボランティアや現地NGO団体の活動現場、JICAプロジェクトの現場などを訪れ、ネパールの教育事情や子どもたちを取り巻く課題、国際協力などについて考えました。また、地方の村を訪れホームステイし、ネパールの農村の生活も体験しました。今回は、その研修に香川県から参加した、詫間裕一先生(香川県総務部知事公室国際課)のレポートをお届けします！

- 「ネパールの野良犬には気をつけて！町中にわんさかいるから。しかも、ほとんどが狂犬病もってるから噛まれたら死ぬで。」
- 「ネパールのイメージは？ん、ヒマラヤそうやね。でもみんなが行くときは雨季だから見えんやろなあ。まあ滞在中2回くらいは土砂降りやろなあ。」
- 「予定はこうなってるけど、しょっちゅうバンダ（スト）があるから、そのときは行事は中止。ホテルで待機になるからそのつもりでね。」
- 「よろこんでください！ホームステイができそうです。しかも一家庭に一人ずつです。ホストファミリーはその村に行くまでわかりませんので、そのつもりで。」
- 「下痢はほとんど全員なと思います。まあ程度の差はありますが・・・わっはっは。」

ネパール派遣が決まって高まる期待に冷や水を頭から浴びせられるような言葉の数々。出発わずか10日前、高松のJICA四国に集まった参加者9名は、互いに顔を見合わせるしかありませんでした。

そして、ちっちゃな期待と大きな不安を胸に9月9日、ネパールに子羊9名と羊飼いの1名が降り立ったのです。空港ではいきなり数名がチップをボラれ、さらに滞在予定のホテルがバンダのため急遽変更を余儀なくされ、私達の不安は高まるばかりでした。



じゃんけん電車で盛り上がりました



ステイは大切な思い出です



野良ネパール犬 噛まれたら死ぬ！



まなざしも真剣です

でも、それがネパールなんです。道路には信じられないくらい車とバイクが溢れ、市場には人・人・人・牛・人。宗教に根ざした生活と、夢のように美しい町並み。少し控えめで心優しいネパールの人々。そして、たくましくかわいい子供達。確かに政情は乱れ、生活は貧しいかもしれませんが、ネパールには生きる力、活力がみなぎっていました。

そしてなにより、日本から遠く離れた地で活動するNGO団体、青年協力隊員、シニアボランティア、JICAネパールの方々の姿勢に大きく心を動かされました。資金援助だけにとどまらない人的支援は、日本の誇るべき支援です。現地の人の中に入っていく支援、それも若者からシニアまで世代をこえて参加している事実。知識としては知っていましたが、やはり実際に自分の目で見て、理解できたことは大きな収穫でした。

9月17日、出発前とは全く違った気持ち、ネパールに対する愛情と日本人としての誇らしさを胸に、私達は関空に到着しました。今回の研修で得たものは何なのか、よく聞かれますが、実際のところまだよくわかりません。しかし、「愛着」と「誇らしさ」それで十分じゃないか、そう今は思っています。

(香川県総務部知事公室国際課 詫間裕一)



世界の文化 あれこれ ～ジンバブエ編～



今回は、ジンバブエ出身で香川県在住のルド・タテンダ・チヴェロさんにジンバブエについて紹介してもらいましょう。



ジンバブエの国境の中で

ジンバブエ共和国は内陸国で、アフリカ大陸の南部に位置しています。国名は、ショナ語で *Dzimba dza mabwe*、直訳すると「石の家」という意味でグレートジンバブエ遺跡に由来しています。農業はジンバブエ経済の中でもとても重要な生産部門で、商用目的の大規模農業と商用と自給農業を兼ねた小規模農業に分けられます。自給農業では灌漑施設を使うことはなく、主に降雨量によって収穫量が決まります。雨季は 11 月から 3 月まで続き、この期間中は人々は農業に専念しているので、お祭りなどは特にありません。

主な穀物はトウモロコシですが、ザンベジバレーの地域では、あわやひえなども食べられています。これらの穀物を挽いて粉にした後は、水を入れてポリッジ（おかゆのようなもの）にし、緑野菜や肉のシチューといっしょに食べられます。野菜は玉ねぎやトマトを使って調理しますが、ピーナッツソースを入れて料理したりもします。

都市部では朝食にはパンを食べますが、地方ではそうではありません。季節的に食べられる料理としては、焼いたり茹でたりしたピーナッツやトウモロコシ、そして野生の果物などです。国内では陸稲を栽培している地域もありますが、あまり日常的な食べ物ではありません。



また、健康に影響が出ると信じられているためタブーとされている食べ物もいくつかあります。（例：部族の※トーテムとされる肉を食べることは、伝統的に避けられていましたが、現在でもほとんど食べられません。）

また、健康に影響が出ると信じられているためタブーとされている食べ物もいくつかあります。（例：部族の※トーテムとされる肉を食べることは、伝統的に避けられていましたが、現在でもほとんど食べられません。）

また、健康に影響が出ると信じられているためタブーとされている食べ物もいくつかあります。（例：部族の※トーテムとされる肉を食べることは、伝統的に避けられていましたが、現在でもほとんど食べられません。）



ジンバブエは、このような伝統文化がまだ残っている国です。

※トーテムとはある集団と特別な関係をもつ特定の動植物や自然物のことです。

Within Zimbabwean Borders

The Republic of Zimbabwe is a landlocked country located in the southern part of the continent of Africa. The name *Zimbabwe* derives from "*Dzimba dza mabwe*" meaning "great houses of stone" in the *Shona* language. Agriculture is an important and productive sector of Zimbabwe's economy. The farming sector is divided into large-scale commercial farming and small-scale farming, which is both commercial and subsistence in nature. Subsistence farming largely depends on rainfall rather than irrigation. The rainy season stretches from November to March. There are hardly any festivals within this period as people are busy in their fields.



The major grain for consumption is maize, although in parts of the Zambezi Valley, millet and sorghum are the principle grains. After grinding, the flour is cooked into a thick porridge that is eaten with green vegetables or meat stew. Vegetables are prepared

with onion and tomato and sometimes with groundnut (peanut) sauce.

Bread is a principal breakfast in the urban diet but not as important in rural areas. Foods that are eaten seasonally include boiled or roasted groundnuts, boiled or roasted maize, and wild fruits. Dry land rice is grown in some parts of the country, but generally rice is not an everyday food.

A few food taboos with serious health consequences are still widely practiced (i.e. the meat of one's clan totem was traditionally avoided; even today animals representing totems are rarely eaten). Eating out is not common, even among men in the urban areas. Travelers purchase soft drinks and prepared food, such as fried cakes, potato chips, roasted maize, and sugarcane from vendors.

During rainy season, a multi-purpose herb flourishes. Lemon Plant, also known as *Zumbani* in *Shona*, is a plant with aromatic leaves and has been used in Zimbabwe for generations for its medicinal properties. It is purely African and generally grows all year round on grassland and stream banks, although it favors the rainy season. Fresh leaves are sometimes used as a tea substitute in many parts of Southern Africa. It is also used to treat coughs, colds, fever, bronchitis, malaria, influenza and measles. When the leaves and twigs are burned, the smoke is said to be effective for treating coughs and asthma. Skin disorders, such as heat rash, as well as scratches, stings and bites can also be treated with Lemon Plant. For this purpose, the tea is usually cooled and then applied like a lotion. The plant is grown as a windbreak on the edges of gardens. A pesticide can be made from the crushed leaves and branches. Traditionally, it is used to wash the hands a person immediately after they die, to cleanse "evil spirits". When placed on top of a fresh grave, it is said that the plant protects the corpse from scaring animals of the night.

As you can tell, Zimbabwe is a country that still retains its traditional culture.

お申込み、お問い合わせは電話等で（公財）香川県国際交流協会まで。 TEL: (087) 837-5908

有料講座は原則として受講料を添えてお申し込み下さい。

（月曜休館、月曜祝日の場合はその翌日）

すでに定員に達している場合もございますので、お問い合わせください。 ホームページ: <http://www.i-pal.or.jp/>

アイパル香川外国語講座

1月期受講者募集中（無料見学可）

英語、スペイン語、中国語、フランス語、ドイツ語、ハンガリー語、ポルトガル語、イタリア語の全8ヶ国語30クラスの講座が行われています。

学期ごとにお申込みが必要ですが、9月期及び1月期は継続受講者を優先としますので、お申込みの際はご注意ください。

◆クラス：入門、初級、中級、上級など

◆時間：10:00～12:00、13:00～15:00、18:00～20:00など

◆期間：1月8日（火）～3月19日（火）

※途中からでもお入りいただけます。

◆受講料：9,000円（1回2時間、全9回分）

外国人のための生活相談窓口

香川県での慣れない暮らしにひとりで悩んでいませんか？相談員が面談・電話等で生活の相談にのります。英語、中国語、ポルトガル語での対応が可能です。

外国人のための人権・法律相談

弁護士、法務局職員等が相談に応じます。

◆日時：1月18日（金）、2月15日（金）、3月15日（金）
いずれも13:00～15:00

◆場所：アイパル香川会議室

◆申込：事前予約が必要で

ホームステイ・ホームビジット受入家庭募集

本県を訪れる外国人の方々が一般の家庭を訪問することにより、お互いの国の文化を理解し友好親善を深めることが出来るようホームステイやホームビジットの受け入れ家庭を募集しています。登録用紙はホームページからもダウンロードできます。

日本語サロン

日本人と話したい外国人の方、日本語を勉強している外国人と話したい日本人の方、参加申込は不要ですので、お気軽にどうぞ。

◆日時：①毎週火曜日 10:00～12:00

アイパル香川 交流フロアー

②毎週木曜日 18:00～20:00

アイパル香川 ライブラリー

③毎週日曜日 13:00～16:00

アイパル香川3階会議室

※①・②主催：（公財）香川県国際交流協会

※③主催：（公財）高松市国際交流協会

※参加無料、アイパルの休館日等は休みです。

※開催場所は下記のとおり変更になる可能性があります。

火曜日：交流フロアーまたは地下会議室

木曜日：ライブラリーまたは地下会議室

詳しくはアイパル香川におたずね下さい。

アイパル国際理解講座

アメリカ、イギリス、韓国、中国の国際交流員といっしょに各国の文化に親しみ異文化理解を深めるための講座を冬季も開催いたします。

◆日時：平成25年2月から順次開講予定

内容、日程等の詳細につきましては、アイパルのホームページをご覧ください。アイパル香川までお問い合わせください。

I-PAL KAGAWA 日本語講座(2012年後期)

経験豊かな講師陣による入門から初級のクラスが9クラスあります。

◆日時：毎週水曜日

入門2・日本語2（10:00～12:00）

毎週木曜日

入門1・日本語1（10:00～12:00）

毎週土曜日

入門1・日本語2（12:30～14:30）

入門2・日本語3（15:00～17:00）

日本語1（10:00～12:00）

◆期間：10月6日（土）～3月7日（木）

◆受講料：3,500円（テキスト代：別途）

◆申込：アイパル香川2階事務室で申込用紙に記入していただき、入門1以外で初めての方は、簡単なクラス分けテストとクラスの見学をしてもらいます。

講座予告!

●【ワンデー・アイパルカレッジ】

香川に居ながら外国で授業を受ける体験をしてみませんか？授業は英語で行います。

◆日時：平成25年3月16日（土）予定

◆場所：アイパル香川

Information

◆丸亀ESS◆

毎週土曜日に外国人ゲストを招きいろいろなトピックについて英語で語り合い、会員の英語力向上とお互いの異文化理解を深めています。1月は12日（土）より例会を予定しています。興味のある方・はじめての方でも気軽に参加頂けます。

◆日時：毎週土曜日（18:30～19:30）

◆場所：丸亀生涯学習センター 4階

◆会費：5,000円（3ヶ月分）

◆問合せ：小野 環 Tel: 090-5804-8221

◆高松トーストマスターズクラブ◆

米国に本部を置く非営利の国際教育団体の高松支部です。スピーチと運営の全てを英語で行うことにより、総合的なコミュニケーション能力の向上を図ります。例会日はお問い合わせください。見学歓迎!

◆日時：原則毎月第2日曜（14:00～16:00）

◆場所：高松市男女共同参画センター（錦町）

◆会費：6か月分会費4,800円（入会日より月割計算）

◆問合せ：藤井 TEL087-823-7262

<http://825645.toastmastersclubs.org>

*平成25年1月13日（日）は、13:00から例会が始まります。

◆世界共通語エスペラントの講習会◆

エスペラントは、ポーランドの眼科医ザメンホフによって平和への願いを込めて造られた世界共通語です。月に一度（原則として、第4日曜日）、I-PAL香川で勉強会を開いています。

初めての方も気軽にご参加ください。

◆場所：アイパル香川

◆時間：13:30～15:30（12月のみ例外）

◆日程／会場：下記の通り

1月27日（日） 第1会議室

2月24日（日） 第1会議室

◆定員：なし

◆申込：不要

◆参加費：1回 300円（テキスト代）

◆問合せ：小坂 TEL/FAX: 0877-22-4771

kosaka_kiyoyuki@hotmail.com

◆丸亀リンゴクラブの例会◆

国際交流に関心を持つ人々が月に一回集まり、外国人ゲストを迎え、英語による交流を通して、国際理解や感覚を深める会です。経験は問いません。新人の方を歓迎します。

◆日時：1月20日（日）

2月17日（日）

3月17日（日）

原則第3日曜日 14:00～16:00

◆場所：丸亀市生涯学習センター 4F 第3講座室

◆参加費：1,000円（当日徴収）

◆問合せ：藤村 隆 Tel: 0875-83-4654

アイパル香川

香川県国際交流協会

〒760-0017

香川県高松市番町1丁目11番63号

TEL087-837-5908 FAX087-837-5903

開館時間/（火）～（日）9:00～18:00

休館日/月曜日・12月29日～1月3日

（月曜日が休日の場合は開館し

原則として翌日の火曜日が休館）

I-PAL KAGAWA

KAGAWA INTERNATIONAL EXCHANGE CENTER

1-11-63 Bancho Takamatsu Kagawa 〒760-0017

OPEN/TUE～SUN9:00～18:00

CLOSED MON-DEC.29toJAN.3

If Monday is a public holiday,

the center will be open on this day.

But closed on the following day.



明けてからおめでとうございます。

今年は3月からいよいよ瀬戸内国際芸術祭2013が始まり高松や瀬戸内海の島々もますますにぎやかになりそうですね。今回は前回の会場に加え沙弥島、本島、高見島、栗島、伊吹島でも開催されます!とても楽しみです。今年もどうぞよろしく願います。皆さんにとって良い1年になりますように。

2013年1月号 119号

編集・発行

（公財）香川県国際交流協会

E-mail: i-pal@i-pal.or.jp

URL: <http://www.i-pal.or.jp/>

高松市番町1丁目11番63号

TEL.087-837-5908 FAX.087-837-5903